

江津高校 × 江津工業高校 × 江津清和養護学校 高校生フリーペーパー

あ お は る

52HEROES

vol. 21

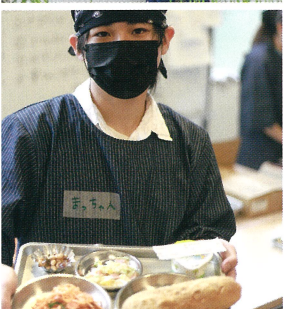
2025.07

Free paper for
students, parents and
local people

Publisher: GOTSU CONSORTIUM

Edit: TEGONET-IWAMI

Design: D52



「街歩きイベント江津本町ふらり」江津高校ボランティア風景

地域の学びを通して輝かせる自分の原石
～自分のペースで、自分の個性で～

島根県立江津高等学校

〒695-0021 島根県江津市都野津町 293 tel.0855-53-0553(代)
<https://www.gohtsu.ed.jp/>



地域のイベントを通して、 人と話すことが楽しくなった

3年生 大屋 心遙

(浜田市立第一中学校卒・地域活性部)

中学生の頃は人と話すことが苦手で、自分に自信ありませんでした。高校を選ぶ時、江津高校の学校案内で、地域に出かける授業や、修学旅行・文化祭などの様子を見て、「楽しそう」と感じ入学を決めました。

古民家を活用して大学生とともに作り上げるイベント（古民家学生イベント）があることを知り、友達と一緒に企画チームに参加しました。チームが少人数のため自分の意見という場面が増えました。最初は躊躇（ちゅうちゆ）していましたが、自分の意見を肯定してもらうことで自信がつき、自分の意見を言う場面が増えていくことで、人と話すことが楽しくなった事が一番大きな変化です。今は大学生がメインで企画を行う場面が多いので、私も大学で企画を身に付け、将来的には企画に関わる仕事につくことを目指しています。

中学生の皆さんには、「今の自分に自信がなくても、江津高校に来て一歩踏み出せば、変わることができるし、本当に楽しめる」と伝えたいです。



「街歩きイベント江津本町ふらり」にて

やりたいと思ったことを サポートしてもらえる

3年生 成瀬 新之介（桜江中学校卒）

3年生 志波 碩也（青陵中学校卒）

3年生 横田 航希（青陵中学校卒・ハンドボール部）



3人とも昔からゲームが好きで2年生の総合的な探究の時間（Go▼Gotsuプロジェクト（通称Goプロ））の授業では、ITに関するテーマにそれぞれ取り組んでいました。そんな時に、地域の方からアプリ開発のコンテストを紹介してもらい、3人で出場することを決めました。地域の方にアプリの開発を支援してもらい、つづ、3人がそれぞれの強みを生かして進めたところ、全国大会に出場でき、入賞することができました。

この活動を通して「自分たちの考え方を整理して伝えるプレゼンテーションが好きで得意であることに気づくことができました」（成瀬）「ITを活用して人の困りごとを解決できるという可能性を感じる事ができました」（志波）「人と一緒に何かを成し遂げることが楽しいと感じるようになりました」（横田）やりたいと思ったことを相談すれば、地域の方々や先生方がサポートしてくれる江津高校はおすすめです。



「Japan Wagamama Awards 2025
最終プレゼンテーション」にて

“ものじゃない、なりたい自分をつくるんだ”

島根県立江津工業高等学校

〒695-0011 島根県江津市江津町1477 tel.0855-52-2120(代)
https://www.gotsu-th.ed.jp/



小3の時から目指していた 江津工業高校で創る 私の未来

建築・電気科 1年生 落合 爽愛

(浜田市立第一中学校卒・弓道部)

江津工業高校に入りたと思ったのは小学校3年生の時でした。当時、進路説明会で姉が工業のパンフレットを持って帰ってきたのがきっかけです。父が機械系の仕事をしており、元々建築とか建物に興味があったので、その時から江津工業高校に入りたと思っていました。

入学してみても思うことは、女子が少ないな。ですね。少ないのは悲しいけれど授業がとても楽しいです。中でも木の種類や技術を勉強する「構造」という授業が建物の中身を知ることができるので好きです。

学校生活では部活も頑張りたいと思っています。姉が高校生の時に弓道女子個人で全国大会5位だったので追い越す、もしくは追い着きたいと思っています。

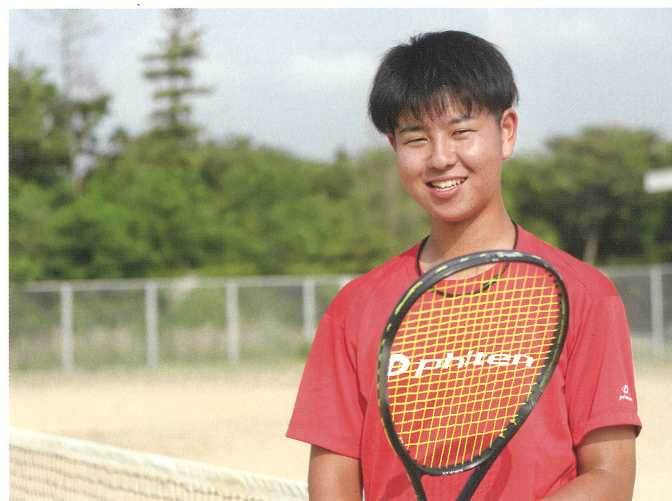
進路は、進学を考えていたのですが、今は悩んでいて、就職もいいなと思っています。家庭科の授業で去年の求人票を見て、進学だけではなく就職にも目を向けたと思います。少しずつ将来のことをこれから考えていきたいと思います。



「ラケットを自分で作りたい」 スポーツへの想いから生まれた 進路の選択

機械・ロボット科 1年生 森田 優也

(浜田市立浜田東中学校卒・ソフトテニス部)



将来、スポーツ用品をつくる会社に勤めたいと思っているので、機械のことを専門的に勉強できる江津工業高校に入りました。小学生のときからソフトテニスが好きで、自分でラケットを作ってみたいと思ったし、プレイしている側だからこそ分かることもあると思ったからです。

江津工業高校は、クラスのみんなも明るく、個性的なメンバーだし、団結力があるのでとても毎日充実しています。中でも授業で工業の実習をする時、分からない時に教え合ったりすることが楽しいです。江津工業高校は教わるだけではなく、いろんな教科でお互い教え合うタイミングがあります。

これからは、いろんな機械を将来扱いたいので資格取得を頑張りたいと思っています。今興味があるのはボイラーの資格です。

他の高校とは違って、ここではできないことがたくさんあるので是非来てくれたら嬉しいです。





島根県立江津清和養護学校

〒695-0001 島根県江津市渡津町 772 番地
TEL 0855-52-2613
<https://sites.google.com/ict.shimane.ed.jp/gotsuseiwa/>



地域の方々とかわりながら、 社会で暮らしていく

社会と本校児童生徒の双方向で心が動く活動に、
取り組んでいます。

江津清和×あすなろパペット会 「腹話術を楽しもう」

昨年度の12月に、小学部6年生の授業で「あすなろパペット会」の皆様に来ていただき、腹話術を鑑賞しました。「にんじんとだいこんとごぼう」の劇や、「ドレミのうた」の替え歌やクリスマスの歌など、人形が好きな児童が楽しめる活動を準備していただきました。

児童は、普段なかなか見ることができない本物の人形を興味深そうにじっと見つめて、時折目を見開いてびっくりしたような表情をしたり、笑顔になったりして、楽しそうに鑑賞することができました。



最後は全員で集合写真

パペットに興味津々です

江津清和×GOTO☆ワンハート 「誰もが暮らしやすい地 域のために」

昨年度の高等部2年生は、江津市内に住む外国籍の方をはじめ「だれもが住みやすい街江津」をテーマに、学習を進めました。昨年11月には、GOTO☆ワンハート代表の山藤様に来校していただき、ワンハートを立ち上げた経緯や、外国の方にとっての住みやすい街についての話を聞きました。

その中で、言葉の壁を取り除くだけでなく、心の壁も取り払う必要を感じ、実際にワンハートの



地域のイベントに参加するための打ち合わせをしています

活動に参加し、日本の遊びや文化を外国の方に伝えたり、外国の伝統文化を聞いたりしました。

そして、3月の「つめさんぽ」では、江津清和養護学校のブースに、ベトナムの遊び「オー・アン・クアン」を体験してもらうために、「異文化交流サロン」のコーナーを設けました。はじめにベトナムの方に本場の遊び方をレクチャーしていただき、お客さんを待ちました。開始時はどのように説明してよいかわ戸惑いながら進めていましたが、お客さんとやり取りする中でコツを少しずつつかみ、



会話をしながら、日本語学習のサポートをしています

後半にはお客さんと楽しみながら進めることができました。



お客さんと一緒に楽しみました



苦戦しながら説明中

GO GOTSU!
NPO 法人てごねと石見
担当：藤田 / 齋ヶ原
tel : 0855-52-7820 mail : iwami@tegonet.net

GO GOTSU! コンソーシアムは学校を超えて、様々な人、企業、地域、学校が協働し、お互いがいるな自分に出会うことができる協働の種を探しています。協働の種が見つかった方はぜひ事務局までご連絡ください。